

寺やお墓参りはご家族でお参りください。

親から子へ、子から孫へと引き継がれます。

寺との関係も自然と理解いただけます。

## 御礼／お願ひ

御礼・お願い・ご紹介・定例の催しをご案内するページです。  
いつも読んでくださる方には、いつものご案内でも、始め

て読んでくださる方には、新鮮なご案内です。

### ※お施餓鬼の受付はサマータイム

お施餓鬼の受付時間は、八月一日から三日までの朝七時から午後一時です。場所は本堂です。午前中は無理という方は、午後でもかまいませんが、山門前の建物にお越しください。玄関右手の呼び鈴を押してください。

### ※年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈祷・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方が出頭されて厳粛に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をします。正月祈祷は一年をすがすがしい気分で始めるための十分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

### ※靈園管理費納付御礼

靈園管理費を大多数の方に納付いただきありがとうございます。ただ、数軒のお家で未だ納付いただい

ております。お納めください。お申しださるようお願いします。

振替用紙を紛失された方はお申し出ください。なお、

郵便振替の口座番号は（00150・0・372690・松岩寺靈園管理費）です。郵便局備え付けの

振替用紙で送金くださつても結構です。普通銀行やコンビニのATMから送金する場合の口座番号は、（ゆうちょ銀行・ゼロイチキュウテン（〇一九）店

当座預金0372690 松岩寺靈園管理費）です

### ※各家墓所の改修時は

各家の墓所を改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。

なお、墓地を整備したため、十カ所ほどの新しい区画があります。お頒けすることができます。詳しい事は寺へ直接連絡ください。

### ※年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後の食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で二十席。三階も椅子席で四十名くらいまで会食できます。お使いください。

### 教養講座

【金つき教室】講師 花輪滋實

第一・四日曜日 午後一時半～四時半まで

【仏像を彫る会】講師 高野竜生

第四土曜日 午後一時半～四時半まで

【声を出して元気になる】講師 加藤純子

月に一度 午後一時半～三時

### 日曜の朝の坐禅会（八月は休会です）

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。

朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入つてください、初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。

三十分ほど坐つて休憩、残りの十五分ほど坐つて、最後に般若心経をよんでも七時には終わりです。

ごいっしょに姿勢をただして、呼吸を調べてみませんか！

# しよ うがんじ 松巖寺

平成二十九年夏

発行 花岡博芳

## report漱石と禪／5. 14 「鎌倉散歩」

今年は夏目漱石生誕一百五十年だという。そこで、今春からはじめた「漱石と禪」。第一弾は、五月十四日に漱石が坐禅をした鎌倉円覚寺をたずねました。



photo 岩崎紀子  
南嶺老師の話だけだったら、円覚寺の集合時間が近づいたので、喫茶店から歩いて二分ほどの円覚寺総門で参加者を待ちます。僧衣姿の私に見知らぬ人も挨拶してくれます。若い人もいます。中年の女性も、すこし老いた男性も、目の青い異国人もいます。多くの人が石段をのぼり拝観料二百円を納めて境内へはいっていきます。拝観料は納めても、第二日曜日の早朝にこの寺を訪れる人の目的は建物の拝観ではありません。境内の奥にある大方丈という建物で、月に一回おこなわれる横田南嶺管長の説経を聞くためです。

南嶺老師は今年で五十三歳。円覚寺派を率いる管長に就任したのは四十年代です。そんな禪僧の話を聞くために、百畳以上はある大方丈が満席になるのです。

私も方丈のなかほどに坐つて始まるのをまちます。本尊さまの横で、じつと坐禅をしている十人ほどの常連さんたちがいます。そんな人たちが醸し出す空氣のつて、気鋭の禪僧が何百年もの歴史を背負つて話しあります。

南嶺老師の話だけだったら、円覚寺の

上あるから、駅前小さな喫茶店でコーヒーを一杯。日曜日の朝七時半から開いている喫茶店なんてうれしいじゃないですか。

それに、昨年の秋に下見を兼ねて鎌倉へ来たときに東慶寺門前でのんだコーヒーと同様に、香りがいい。違いがわかる男ではないけれど（若い人にはわからない爺さんのダジヤレです）、鎌倉のコーヒーはおいしい。

集合時間までは三十分以

上あるから、駅前小さな喫茶店でコーヒーを一杯。日曜日の朝七時半から開いている喫茶店なんてうれしいじゃないですか。

花をみて、季節の野鳥の声をききながらの説経会でないとわかれます。著書だって何冊もある。でも、やはりあの場所で、時季のこと。生きているからいいコーヒーのんで、いい場所へ行かな